

# 2011 年度 第 3 回 試合観戦研修会報告書

平成 23 年 11 月 25 日

概要	日時	2011 (平成 23) 年 11 月 12 日 (土) 12:30~20:00		
	場所	試合会場：ニッパツ三ツ沢球技場 試合分析会場：神奈川県立スポーツ会館 B 会議室 懇親会会場：横浜駅西口居酒屋		
	主催者	神奈川県サッカー審判協会		
	テーマ	審判知識と技術向上を図る		
	受講者	14 名		
	指導者	早坂良雄	事務局	兼井新一 (記)
内容	【試合内容】	第 90 回 全国高等学校サッカー選手権大会 神奈川県 2 次予選会 決勝 試合開始 13:00 対戦 桐光学園高等学校 vs. 三浦学苑高等学校 スコア 2:1 (1:1) (1:0) 主審 山口博司 副審 蒲谷卓也 副審 菅野光裕 4th 山田亮		
	【試合分析】	試合のビデオから、問題になる場面などの判定を審判団に確認・検証する 自分が主審だったらどう判定するかなど、審判団との意見交換を実施する		
	【懇親会】	指導者と審判員との情報交換会		
所感	<試合観戦>	勝てば 3 年ぶり 6 回目全国大会出場となる桐光学園と一方、初出場になる三浦学苑の試合は、巧みなパスワークで立ち上がりから優勢な試合運びをした桐光学園が前半 33 分先制点を挙げるが、三浦学苑が前半 35 分に、コーナーキックからゴール前で鮮やかなボレーシュートで得点し、同点で前半を終了。しかし、桐光学園は後半 13 分、センターリングからゴール前に走りこんだ選手がうまく合わせて得点を挙げた。その後、両チーム共にチャンスをうまく生かせず、桐光学園の勝利で終了した。三浦学苑も粘り強く守備をして、決勝に始めて勝ち上がってきたチームとは思えない、自分たちの力を出し切り健闘した試合でした。 桐光学園の全国大会出場おめでとうございます。全国大会でも神奈川県代表として、活躍を期待しております。		
	<試合分析>	試合後、三ツ沢競技場入口にある県立スポーツ会館に場所を変え、2 級審判員の福島雄一氏の司会で判定など検証したい場面を繰り返しビデオで見ながら、審判団になぜそのような判定になったかを説明してもらい、意見交換しました。主審の山口氏は、「報道や関係者が多く、注目度も高い試合であり、やりがいのある試合であった」と感想を語り、副審の蒲谷氏は「この試合の割当てが決まった時は、大変緊張したが、普段通りに出来て良かった」と話した。後半に副審 2 のサイドでハンドリングのファウルサポートがあり、ファウル基準について、質問があり、「打ち合わせ通りであった」と説明があった。 最後に今回の指導にあたって頂いた早坂氏から、「大きな問題となる場面もなく良かった、選手とのコミュニケーションもとれていた。」と試合の感想を語った。また、参加者へのアドバイスとして、「ファウルをさせないようにすること、ファウルは見つけるものではない、また、皆さんはゲームで基本的なポジションを原則に則ってやってほしい。1 級審判員のまねはできない。」と指導頂きました。 山口博司氏、蒲谷卓也氏の両氏は、県協会審判委員会の会議の前に、時間を割いて参加頂き、深く感謝申し上げます。		
	<懇親会>	残念ながら、審判団の方々および多くの方が、スケジュールの関係で参加できず、6 名での少数開催でしたが、参加頂いた若手審判員との積極的な意見交換ができ、有意義な時間を過ごしました。皆様の今後の活躍を期待します。		



左から副審:菅野光裕氏 第四の審判:山田亮 主審:山口博司氏 副審:蒲谷卓也氏



スナップ写真

